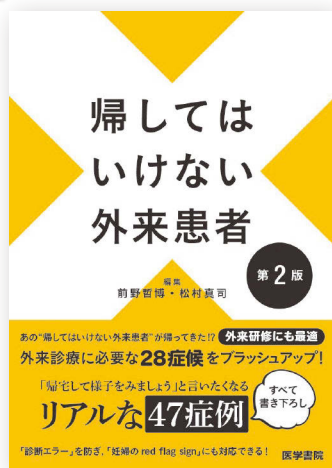




今月の特集関連本

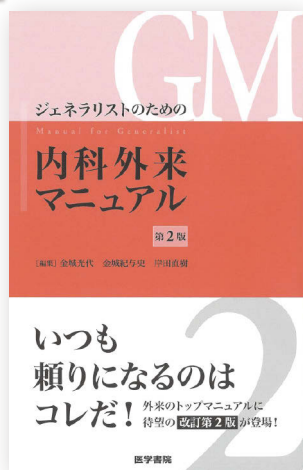


帰してはいけない外来患者 第2版

前野哲博、松村真司＝編

定価 4,180 円／A5 判・288 頁／医学書院／2021

「帰してはいけない」患者にフォーカスし、外来診療に必要な知識をブラッシュアップする1冊。第2版では、臨床推論の基本的な概念としてよく知られる「二重プロセス理論」について加筆するとともに、「診断エラー」に関する項目を追加した。症候編では「妊婦の症状」を加筆。「帰宅して様子をみましょう」と言いたくなる47症例を書き下ろした。「緊急性・重篤性・有病率・治療可能性から決断する!」「秒単位・突発で持続する症状は危ない!」「増悪傾向の症状はピークアウトするまで目を離さない!」など、外来で使える general rule が満載。外来研修にも最適だ。

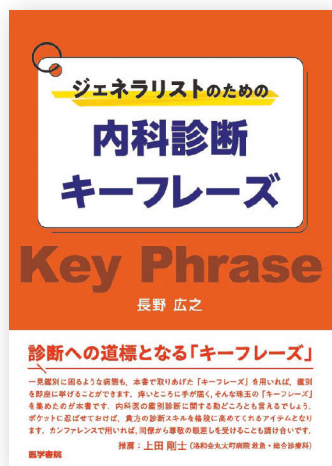


ジェネラリストのための内科外来マニュアル 第2版

金城光代、金城紀与史、岸田直樹＝編

定価 5,940 円／A5 変判・736 頁／医学書院／2017

ナンバーワン・マニュアルとして不動の地位を得た『ジェネマニユ』に、内容を大幅にパワーアップした第2版が登場! 診療情報のアップデートに加え、対応する主訴・検査異常の数を大幅に増やし、より幅広い臨床プロブレムに対応できるよう使い勝手を向上させた。トップジェネラリストならではの外来マネジメントのエッセンスも盛り込まれた、外来で最も頼りになる内科医必携の1冊。



ジェネラリストのための内科診断キーフレーズ

長野広之＝著

定価 3,850 円／A5 判・336 頁／医学書院／2022

内科臨床に役立つ「鑑別診断を絞り込むのに特異的、知っておくと役に立つ Problem (=キーフレーズ)」から絞り込んでいく鑑別診断の考え方を、エビデンスに基づいて実践的に解説した。疾患に着目するだけではなく、診断にたどり着いたプロセスに着目することで、日常診療に役立つポイントを得られる。一見、鑑別に困るような病態も、「キーフレーズ」を用いれば、鑑別をあげることができる。『medicina』誌の好評連載「フレーズにピンときたら、このパターン! 鑑別診断に使えるカード」をアップデートして書籍化。



ジェネラリストのための

これだけは押さえておきたい 皮膚外用療法

安部 正敏



ジェネラリストのための これだけは押さえておきたい皮膚外用療法

安部正敏＝著

定価 4,620 円／A5 判・276 頁／医学書院／2023

皮膚疾患を治療するにあたって、最低限押さえておきたい外用療法のコツを凝縮した1冊。塗り方・用量・基剤の使い分けなど、外用療法の基本から解説した。日常診療でよくみる疾患は、診断・治療プロセスから具体的な処方例までコンパクトにまとめた。古典的外用薬・ドレッシング材・洗浄剤・化粧品・市販衛生材料など、臨床現場で今すぐ使える知識が満載！ 外用療法学の根幹を総論で学び、臨床現場での実践を各論に求め、知って得する最新情報を特論で身につける構成。

かゆいところに手が届く！ まるわかり糖尿病塾

編集 三澤美和 岡崎研太郎



三澤美和、岡崎研太郎＝編

定価 4,950 円／A5 判・402 頁／医学書院／2020

プライマリ・ケアで知っておきたい糖尿病診療の知識が全部入った1冊。プレ初診（潜在患者のスクリーニング）から、内服薬・注射薬の使い分け、対応の難しい患者への接し方まで、糖尿病診療を行うプライマリ・ケア医に求められる知識を厳選した。インスリンの打ち方、紹介状の書き方など、「かゆいところに手が届く」情報も盛りだくさん。最新のエビデンスに基づきつつ、「臨床現場で明日から使える知識」を知りたいというニーズに応える。

子どもの けいれん&頭痛 診療

二木良夫



子どものけいれん & 頭痛診療

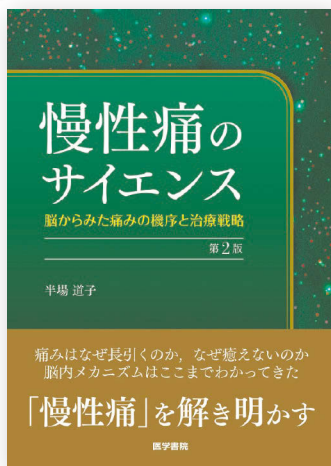
二木良夫＝著

定価 3,850 円／A5 判・162 頁／医学書院／2020

小児科診療のなかでも判断に悩みがちな「けいれん」「頭痛」。小児神経症状の7割を占めるけいれん・頭痛の適切なアプローチを学べる1冊。けいれんか否かの判断、鑑別診断、治療法について説明した。また、意外と多い子どもの頭痛についても解説。けいれんや頭痛の子どもに「問診で何を聞くか」「診察で何をみるか」「必要な検査の判断」「専門医へつなぐ時」「予防投薬」「保護者からの質問への答え方」など、ジェネラリストが最低限備えるべき知識をまとめた。



今月の特集関連本

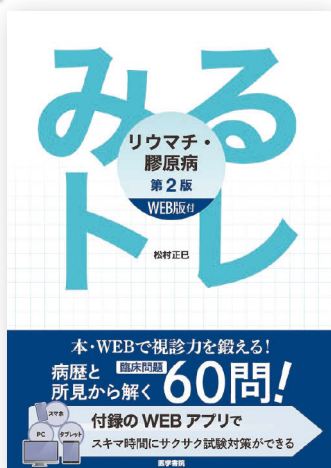
**慢性痛のサイエンス 第2版**

脳からみた痛みの機序と治療戦略

半場道子＝著

定価 3,960 円／A5 判・296 頁／医学書院／2023

慢性痛のメカニズムを解き明かす！「痛みの定義」の改訂、nociceptive pain（痛覚変調性疼痛）の定義といった、国際的な潮流を反映して全面改訂。慢性痛のメカニズムを脳科学的視点から丁寧に解説した。第7章「神経変性疾患と慢性炎症」では慢性痛を訴える難病患者の脳を、また新規8章「腸の痛み、腸と脳の連関」では腸が脳に与える影響といった、慢性痛のミッシングピースを大胆に考察して大幅加筆。慢性痛患者に携わるすべての医療者の必読の書。

**みるトレ リウマチ・膠原病**

[WEB 版付] 第2版

松村正巳＝著

定価 5,060 円／B5 判・190 頁／医学書院／2021

視診・観察能力を鍛えてリウマチ・膠原病診療に強くなる！ リウマチ・膠原病の診療では、身体所見と病歴を組み合わせる診断が重要だ。本書は、すぐれた診断医・内科医として知られる著者が、一般内科医の診断力アップのためにまとめた臨床問題集である。診断のカギとなる身体所見を学べると同時に、身体所見と病歴を組み合わせ、どんな鑑別疾患をあげ、診断を絞っていくかを学ぶことができる。学習管理システム「WEB 内科塾」を使用し、ブラウザでの閲覧・学習も可能。

**頭痛の診療ガイドライン 2021**

日本神経学会、日本頭痛学会、日本神経治療学会＝監修

「頭痛の診療ガイドライン」作成委員会＝編

定価 5,940 円／B5 判・512 頁／医学書院／2021

頭痛に携わる医療者必携の診療指針、最新のエビデンスをもとに大幅改訂！ 日進月歩の頭痛の診療にあたり、臨床医が適切かつ妥当な診療を行うための臨床的判断を支援する目的で、現時点の医学的知見に基づいて策定したガイドラインを8年ぶり改訂。二次性頭痛についての Clinical Question が加わり、頭痛に携わる医療者のニーズにさらに幅広く対応できるよう工夫した。プライマリ・ケア医にもいっそう役立つ1冊。